

令和6年度第4回湯沢町総合戦略推進会議 要旨	
日時	令和7年1月8日（水）13:30～14:50
場所	湯沢町役場3階 大会議室
次第	1. 出生率の分析について 2. 議題 総合戦略（案）に対する答申について 3. その他 今後のスケジュールについて
出席者	氏名（所属・役職）
	・ 鷲見 英司 委員（日本大学経済学部教授） ・ 岡 淳朗 委員（一般社団法人湯沢町観光まちづくり機構代表理事） ・ 中島 宏明 委員（東日本旅客鉄道株式会社越後湯沢駅駅長） ・ 高橋 政弘 委員（社会福祉法人湯沢町社会福祉協議会会長） ・ 星名 秋彦 委員（新潟県南魚沼地域振興局局長） ・ 竹樋 渉 委員（第四北越銀行 湯沢支店支店長） ・ 桑原 優 委員（新潟県信用組合 湯沢支店 支店長） ・ 剣持 崇紀 委員（町民） ・ 角谷 真一郎 委員（町民） ・ 南雲 有華 委員（町民）
	（欠席） ・ 綿貫 靖夫 委員（湯沢町商工会会長） ・ 上村 貴子 委員（町民）

内容	
1. 出生率の分析について	
以下の資料に基づき鷲見委員長から説明	
・ なぜ本町の出生率が低くなるのか	
事務局	皆様からご質問はいかがでしょうか。
星名委員	他の地域に比べて湯沢町は地域おこし協力隊の方が少ないといったことはないでしょうか。十日町市や三条市は多い。そういった方の転入が要因にはなっていないでしょうか。

事務局	12/1 現在で、湯沢町は地域おこし協力隊が 9 人、十日町市 19 人、三条市 42 人、津南町 5 人、南魚沼市 6 人の方がいるようです。 当町としては人口規模からすると、十分な人数ではないかと思っています。
岡委員	・地域おこし協力隊を卒業した先輩が、次に来た隊員のサポートをしていくような循環を作った方が良いと思います。 ・また、町の方で転入者が I ターンか U ターンかは把握できるのでしょうか。
事務局	・地域おこし協力隊については、そのような仕組みがあると良いと考えます。 ・I ターン者か U ターン者かの把握については、住民基本台帳の情報を一人ひとり調べるしかない。また、住民基本台帳を閲覧できる職員も限られているので現状は難しいかもしれません。
高橋委員	・昔から町で生活している者からすると、湯沢町の大きな転機はマンションブームだと感じている。マンションブーム以前の後では地域の人たちの意識も変わってきているように感じている。高速道路や新幹線といったところも便利になった反面、地域外への流出が多くなってしまったのではないかと感じる。 ・年配の方については、町への愛着があると感じているが、それと比べると、今の若い人は湯沢町に愛着が薄いように感じる。 ・移住者と地域住民のふれあいといったことに関してもどうしていくのかということは気になっている。
事務局	町への愛着としては、数年前から、湯沢学園 9 年生（中学 3 年生）に総合戦略の説明をしていたりするのですが、これは、町の現状を分かってもらうことや町への愛着を醸成したいという目的で行っていることになります。
2. 議題 総合戦略（案）に対する答申について	
（議題から委員長が進行）	
鷲見委員長	総合戦略（案）に対する答申について事務局から説明をお願いします。
以下の資料に基づき事務局から説明	
鷲見委員長	ご質問のある方はいらっしゃいますか。
星名委員	・言葉の表現について、推進会議からの答申であるので「本町」ではなく「貴町」に修正した方が良いと思います。 ・施策 2-5 に関する内容は、記載誤りの修正ということなので、答申という形式では必要ないのではないのでしょうか。
事務局	2 点ともそのように修正したいと思います。

角谷委員	多くの施策があるので、役場の人員体制としても大丈夫かが心配です。行政だけでなく、オールユースや町民としても、役割分担の中で力を合わせて、行政や関係機関と連携して推進していただけると良いと思います。
事務局	答申の「全体を通して」の項目で記載している内容を修正して表現したいと思います。
岡委員	外国人労働者の受入れについて、近年は、外国人が経営する事業者が自ら外国人労働者を連れてくるという動きもあるので、そのような外国人事業者との連携についても、要素として加えていただいた方が良いと思います。
事務局	そのように答申に加えたいと思います。
鷲見委員長	その他ご意見がないようでしたら、議事を終了いたしますので進行を事務局に戻します。
その他	
事務局	今後のスケジュールについて、資料に基づき説明。 その他、委員の皆様から何かありますでしょうか。無いようでしたら、以上で、本日の会議を終了させていただきます。